

## 北海道でがんで亡くなる人を減らす ためにローカルテレビ局が できること

UHB 北海道文化放送  
報道スポーツ局報道情報部付 部長  
**向田 陽一** (解説委員)

UHB北海道文化放送では、月曜から金曜日の午後3時50分～午後7時まで放送している『みんなのテレビ』で月に1回、がんについての特集を放送している。北海道新聞の「がんを防ごうキャンペーン」と連動した特集で、2016年4月から放送を始め現在、3年目に入った。担当しているのは医療キャスターの松本裕子キャスター（フリー）。

松本キャスターは9年前、ニュースキャスター時代に母親が卵巣がんになったことをきっかけに、がんに関する取材・啓発活動を始めた。自らの経験から、「患者とその家族」の視点・気持ちに寄り添った報道を心がけている。またインターネットをはじめ、医療に関する情報が溢れる中、「何が正しくて、何が間違っているのか?」。道民と医療をつなぐ架け橋として、科学的根拠に基づいた正しい情報を分かりやすく発信しようと取り組んでいる。

がんを防ごうの特集では、企画の立案、取材先の選定、取材依頼、そして取材、原稿の作成とVTR編集、そしてキャスターとしてスタジオに出演し伝えるということをひとりで担って毎月、放送している。キャンペーンの目的は「1人でもがんで亡くなる人を減らす! 全国で3番目に高い北海道のがん死亡率を下げる」こと、そして「がんと共に生きる」ためにどうしたらよいか、視聴者と共に考えていくこと。これまでの放送の内容についてはUHBのホームページ (<https://uhb.jp/program/ganwofusego/>) に掲載し、放送の後でも視聴者が情報を確認できるようにしている。このキャンペーンを続けるにあたり、医師をはじめとした多くの医療関係者に取材へのご理解とご協力を頂き、感謝申し上げます。

UHBでは2001年、食道がんで亡くなったある男性患者を、11ヵ月に渡って取材したドキュメンタリー番組を放送した。がんであることを公表し、自分らしく生きようとした男性患者の姿は、多くの共感呼んだ。患者本人へのがんの告知が一般化しつつあった時代。ただし、まだまだ「がん」イコール「死」というイメージがつきまとっていた。それから17年、医学、医療の進歩でがんの生存率が上昇、かつてのイメージは大きく変わり、「がん」イコール「死」ではなくなり、あの男性患者のようにがん

であることを周囲に明らかにして、病と向き合いながら生き生きと暮らす患者はけっして珍しくなくなった。こうした時代の変化を受けながら、北海道ローカルのニュースでどうがんについて伝えていくべきなのか?

特集では、がんの早期発見につながる検査の重要性、そして最新の検査方法などを紹介、また部位別の最新の治療法だけでなく、治療と仕事をどう両立させるか、「心の痛み」とどう向き合うのかなど、がん患者の悩みにもスポットを当ててきた。さらには今、大きな課題となっている受動喫煙の問題にも切り込んだ。喫煙率が高い北海道にとっては喫煙の課題であり、がんの防止という観点でも強い関心をもっている。

さて、ここでテレビ局の取材が一般的にどのような流れで進んでいくのか説明したい。まずは担当する記者やディレクターが放送を予定している特集のテーマに沿ってその分野に詳しい医師などに電話連絡させていただき、対応していただけることになれば取材の打ち合わせ。診察や検査の様子など、どのような映像を撮影させていただけるのか、またインタビューで聞きたい内容など固めていく。また資料の提供や、取材可能な患者の紹介をお願いする場合もある。そして、実際の取材。診察や検査の様子、紹介したい機器の様子などをカメラで撮影していく。また医師をはじめ、テーマに沿った関係者の方、あるいは患者にインタビューをし、その様子を収録していく。取材は通常、記者ないしはディレクター一人とカメラマン、音声や照明などを担当するカメラ助手の3人で行う。これにキャスターが加わるとプラス1人となるが、松本キャスターの場合、ディレクターの役割を兼任しているため3人のまま。取材時間はケースバイケースだが、一定程度の時間を割いていただく必要がある。撮影した映像やインタビューを編集して特集ニュースを制作していくが、撮影時間の長さ比べて、実際に使用される映像の長さが短いことがほとんどだ。いろいろと協力したのにこれしか放送されないのかと思われる方もいらっしゃると思うが、限られた放送時間内で分かりやすく伝えるべく、さまざまな要素を吟味して検討した結果なので何卒、ご容赦願いたい。

さて、災害を無くすことはできないが、小さくすることはできるという「減災」の考え方が今は一般的になっている。行政、専門家、メディアが三位一体となり、この「減災」に取り組んでいるが、がんについて北海道では更に強力な六位一体での取り組みが進んでいる。その推進のために、医療関係者や行政担当者に情報提供や取材への協力を引き続きお願いしたい。

### プロフィール

ワインの町として知られる十勝管内池田町出身。1990年北海道文化放送入社。報道部配属。函館駐在記者。uhbスーパーニュースキャスター、ニュース編集長、報道部長。趣味は登山、家族、妻と愛犬。